

上映作品解説

2/デュオ

1997年/95分/カラー/
出演:西島秀俊 柳愛里 渡辺真紀子



ブティックで働く優は、売れない俳優の圭を支えながら同棲生活をしている。ある日、圭は優にプロポーズをする。優は圭の真意が知りたくてならないが、圭はその訳を聞かせてくれない。ちょっとした心の行き違いから、ふたりの関係は均衡を崩してしまい、圭は感情に任せて暴力的になり、優は精神を病んでいく。そして、ついに優はある決心をするのであった。壊れた絆をもう一度見つめ直そうとする男女の物語。

M/OTHER

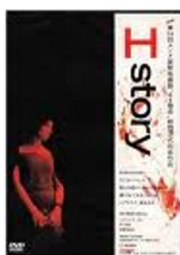
1999年/日本/147分/カラー/
出演:三浦友和 渡辺真紀子 高橋隆大



レストランを経営する哲郎とデザイン会社に勤務するアキは同棲中で、互いを束縛しない自由な関係を続けている。ある日、哲郎の離婚した元妻が交通事故で入院したことから、哲郎は彼女に引き取られていた8歳になる息子の俊介を預かることになる。なんの相談も無しに、俊介を連れ戻ってきた哲郎の態度に不満なアキ。やがて一カ月だけの疑似家族が出来上がるが、それは以前までの哲郎とアキの関係を必然的に変えていくことになる。

H STORY

2001年/日本/111分/35mm/カラー
出演:ベアトリス・ダル 町田康 馬野裕朗



『二十四時間の情事』(原題:『ヒロシマ・モナムール』)のリメイクとしてスタートした『H story』。名のない日本の男とフランスの女。彼らはヒロシマで出会った。被爆地であるヒロシマ、そして自分の過去への無関心と忘却を恐れる女。そんな女をただ見つめ続ける男。彼らは互いをヒロシマ、ヌベールと呼び、そして愛しあった。40年前に書かれたこの古いテキスト通りに演技することに違和感を覚えるベアトリス・ダル。超えられない時間という大きな壁。苛立ち。躊躇。「なぜ今リメイクなのか」。この問いに「避けて通れなかったんだ」とだけ答える監督。スランプに陥ったダルとの対話を繰り返しながら、彼も同じ模索し続けていた。あるわけもない答えを…。

不完全なふたり

2005年/フランス・日本/108分/カラー/
出演:ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ
ブリュノ・トデスキーニ



マリーとニコラは結婚15年になる夫婦。彼らは友人の結婚式に出席するために、リスボンからパリへやって来た。友人達からは、「理想のカップル」として見られている二人だったが、実は彼らは離婚することを決めているのだった。二人は、パリ滞在の数日間にも、たびたび口論を繰り返す。一方、マリーはロダン美術館で、あたかも溶け合おうとする女と男を描いた彫像を見て、引きつけられる。「私たち、何をしたの?」「何をしなかったの?」

最新作が桜坂劇場にて5/29~6/11まで上映
*6/1(火)は休映です。

フランス・パリ ⇄ 日本
少女たちのピュアでみずみずしい感性から
"優しい宝物"が誕生しました。

ユキとニナ
yuki and nina

諏訪敦彦×イポリット・ジラルド 共同監督作品
カンヌ国際映画祭<監督週間>正式出品作品

